

神奈川県立高浜高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和8年度 県立高浜高等学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和8年5月20日(水) 15時30分から16時45分
開催場所	県立高浜高等学校 会議室
出席者	牛久保浩一、土佐明美、細田俊哉、原田容一、清田宗彦、伊藤みゆき 佐藤りか、山田晃之、鈴木達也、杉山幸聡、武井勝、遠藤美代子、大江宏則、林玲子
会議資料	①第1回 学校運営協議会 次第 ②令和8年度 学校運営協議会委員名簿 ③学校運営協議会運営計画書 ④令和7年度 学校評価報告書 実施結果【全日制・定時制】 ④令和8年度 学校評価報告書 目標設定【全日制・定時制】 ⑤令和8年度 年間行事予定【全日制・定時制】 ⑥令和7年度 進路状況一覧【全日制・定時制】 ⑦校長説明資料 ⑧神奈川県立学校のコミュニティ・スクール
議事録	<p>1. 概況 令和8年5月21日に開催された協議会にて、全日制および定時制の課程における昨年度の実施結果報告後、今年度の目標説明が行われた。委員からは、教員の熱心な指導や生徒の落ち着いた様子、地域連携の継続性について高い評価を得た一方で、部活動の取り組み状況や特色選択科目の履修者数、検定や資格取得に向けた学校側としての取り組みについて提言があった。</p> <p>2. 全日制の課程に関する評価と意見 ①教育課程・学習指導 ・現状と評価:電子黒板の導入や、一人一台端末の購入を学校として進めている反面、教員側の授業力向上が課題である。現在はスライド資料や教材関連の動画を流す、ロイロノートの利用などにより、ICTを活用した授業が行われている。 ・委員の指摘:特色選択科目である「社会福祉基礎」の受講者数について、英検や漢検等の受験者数について ・特記事項:働き方改革という面で、業務の見直しについての意見が多くあった。採点システムの導入によって、教員の業務負担を軽減することが望まれる。</p> <p>②生徒指導・支援 ・現状と評価:法律や校内のルール・社会的マナーの遵守を目指し、問題行動の削減と未然防止に取り組む。 ・専門家連携:スクールカウンセラー(SC)やソーシャルワーカー(SSW)との連携により、早期対応が図られている。一方で、定時制との調整が厳しい場面もある。 ・今後の課題:すべての生徒にとって安心できる居場所となるよう工夫をしていく。</p> <p>③進路指導・主権者教育 ・現状と評価:夏期講習について、上級学校の受験を目指す発展クラスのみでの開講で、基礎クラスなどによる基礎学力の定着や英検対策、主要3科目(国・数・英)のみに留まらず、多くの科目の教員の協力が必要不可欠である。 ・進路実績:進学志向が増え、公務員の志望者も例年より増加した。進路グループと学級担任との情報連携を密にし、早期に進路実現を見据えた指導を行っていく。校内成績が高い生徒は指定校推薦を選択し、安全志向が強く難関校の受験を避けている生徒が多いのが実態である。今年度は、就職希望者が20名程度おり、教師個別の指導の削減、データ化によるペーパーレス化を進めていく。</p> <p>④地域協働・地域連携 ・現状と評価:広報連携グループからは、AIの活用と外部委託による、教員の業務削減を目指す。 ・防災教育:地域の清掃活動や、津波対策・DIGなどの防災教育を今年度も力を入れて取り組む。今年度は1学年に向けたAEDの講習については人数制限や予約時期など変更がある。</p> <p>3. 定時制の課程に関する評価と意見 ①学習・進路支援 ・現状と評価:皆勤・精勤者および成績優秀者表彰を継続し、生徒への周知を浸透させることで、自己肯定感を高め、学校生活・授業に向けて学習意欲を高めている。 ・課題:研修会などで情報共有をすることで、ICT機器の使用頻度が増し、他者との意見交換や協働を授業に積極的に取り入れていくとよい。 ・意見交換:定時制生徒の取得する資格について、主に外国につながる生徒は日本語能力検定の取得に尽力している。理科検定や秘書検定、救急救命士の資格を取得する生徒もいる。</p> <p>②生徒指導・支援 ・現状と評価:支援が必要な生徒について、市役所や児童相談所との会議で組織的な対応が求められている。広く生徒を全教員たちでフォローする必要がある。</p> <p>4. 今後について AIなどの利用場面が増え、生徒も教員も正しく使用できるための知識が求められている。 働き方改革という視点からは、教員は業務負担が多いので、新たなシステムを積極的に活用し、よりよい学校運営と生徒の学びにつながるよう取り組んでいく。</p>